

北九州PCB処理事業所第1期施設解体撤去の状況

北九州PCB処理事業所第1期施設 解体撤去は、学識者の助言・指導及び北九州市との協議を重ね、より安全確実に解体撤去を進めるため、第1段階として、第1期施設の一部の設備を対象に操業と同様に安全管理のもと、先行的に解体撤去（先行工事）を行い、手法・技術の確認を行いつつ知見を蓄えた後、第2段階として、残りの施設の解体撤去（本工事）に着手する計画として進めています。（別紙1）

現在、解体撤去 第1段階の先行工事に着手しており、解体撤去作業の状況について、報告いたします。

1. 解体撤去 — 第1段階 —

1) 解体撤去・先行工事による手法・技術の確認

先行工事による手法・技術の確認を令和元年6月17日より開始しました。

a. 作業の進捗状況

最初の先行工事としてグローブボックス(以後GBという)内の機器の解体撤去を行いました。(別紙2) この先行工事は解体撤去マニュアルを踏まえて、GB内のPCB状況調査、除去分別(付着PCBの低減)、環境測定を行い、安全を確保しGB内部機器の解体撤去を進めました。

b. 周辺環境への配慮

機器の解体撤去は、負圧管理がなされているGB内で行っています。GB内からの排気が周辺環境に影響を及ぼしていないことを確認するためにオンラインモニタリングに加え、GB系排気のPCB濃度測定を実施すると共に近接する洗浄装置及びその他の作業場所からの排気測定も実施し、基準値以下であることを確認しています。(洗浄装置系排気, 解体分別室排気系)

また、GBへの出入口にはグリーンハウス(GH)を設置し、負圧管理を実施しながらGB内からのPCB拡散を防止しました。

c. 作業者の安全衛生管理

入構時の安全教育をはじめ、保護具等の着用の徹底を行い、作業環境測定を実施して、GB室、解体分別室等において基準値以下であることを確認しています。

GB内での作業者には、GB内への入退室の管理を行うなど、安全衛生管理を確実に行いました。

d. PCB廃棄物の無害化処理

解体撤去した機器は、コンデンサーの処理と同様に洗浄装置によりPCBを除去し、卒業判定を実施して有価物または産業廃棄物として払い出すことを基本としています。

2) 解体撤去・本工事の事前作業

・清掃(3S)及び残置物の撤去

現場の3Sを行うと共に備品や不要物等の回収・撤去を実施しています。

・液抜き洗浄、除去分別

タンク類、配管に残る高濃度PCB廃液を回収して、既設の液処理設備にてPCBの無害化処理を行います。

以上